

お申込み方法

FAXで

富山福祉短期大学 企画推進部 企画推進課

0766-55-5570

送付状は不要です。

この申込用紙1枚をFAX願います。

団体名(会社名)・所属、住所、電話番号、参加者氏名、懇親会への参加有無をご記入の上、FAXまたはWEBフォームからお送りください。

WEBで



QRコードを読み込んだ先のフォームからお申込みください。
※質問欄に懇親会への参加有無をご記入ください。

<https://t-fukushi.urayama.ac.jp/inquiry/forum.html>

定員 | 60名
申込締切 | 10月18日(金)

国際観光学科 開講記念シンポジウム

FAX 申込用紙

ツーリズムで成功する地域創生 — そのための人材育成とは

団体名(会社名)・所属	団体名(会社名)	所属	
住所	〒		
電話番号			
参加者氏名 懇親会申込	役職	参加者氏名	懇親会参加
		フリガナ	有・無
		フリガナ	有・無
		フリガナ	有・無
		フリガナ	有・無



〒930-0341 富山県射水市三ヶ579 TEL 0766-55-5567 FAX 0766-55-5568
URL www.t-fukushi.urayama.ac.jp/ E-mail fukushi@te.urayama.ac.jp

お問い合わせ 企画推進課 ☎0766-55-5567



- あいの風とやま鉄道 小杉駅から徒歩7分
- 駐車場につきましては、現地の看板、誘導員の案内にご協力下さい
- 駐車場の数に限りがあります。公共の交通機関をご利用ください



国際観光学科
開講記念シンポジウム

ツーリズムで成功する地域創生

そのための人材育成とは

定員60名
入場無料

日時 2019.10.29(火) 15:00~17:30 (懇親会 17:45~19:00)

場所 学校法人浦山学園 USP (Urayama Social Platform) 射水市三ヶ576

基調講演

日本が期待する地域創生
— その必要性と、観光の果たす役割 —

国土交通省観光庁審議官 加藤 進氏

シンポジウム

成功する地域創生の手法、
そのための人材育成

富山県観光・交通振興局長 猪俣 明彦氏
JTIC.SWISS代表 富山福祉短期大学非常勤講師 山田 桂一郎氏
美ら地球CEO 富山福祉短期大学非常勤講師 山田 拓氏
富山福祉短期大学国際観光学科 准教授(予定) 齋藤 望
モデレーター 富山福祉短期大学国際観光学科 教授 藤本 幸男

主催 学校法人浦山学園 富山福祉短期大学

後援 富山県、北陸経済連合会、(公社)とやま観光推進機構、富山県ホテル旅館生活衛生同業組合、(一社)富山県旅行業協会、(一社)日本旅行業協会中部支部富山地区委員会、全日本空輸(株)富山支店、富山地方鉄道(株)、立山黒部貫光(株)

登壇者紹介



学校法人 浦山学園理事長
浦山 哲郎



富山福祉短期大学 学長
炭谷 靖子

ご挨拶

富山福祉短期大学は2020年春、地学一体による地域創生拠点として、新しく「国際観光学科」を開講いたします。

2030年にはインバウンド(訪日)旅行者数が6,000万人にも達すると予測され、またその旅行形態が体験型、滞在型傾向にあることや、訪問都市がゴールデンルートから地域へ散開しつつあることも報じられています。

これらをふまえ、本学では他大学に例を見ない3つのニューツーリズム—アドベンチャー・ツーリズム、ユニバーサル・ツーリズム、食のツーリズム—toに特化したインバウンドビジネス人材の育成を新学科の教育目標として掲げ、明日の地域創生に資する決意です。

地域の教育機関としては、地元で学ぶ魅力や、ふるさとの夢をかなえることのできる教育内容の創出と発信をし続ける必要性を強く感じているところです。

今回のシンポジウムは、「ツーリズムで成功する地域創生—そのための人材育成とは」と題し、観光庁、富山県の地域創生を担う方々のほか、内外の実践者としてトップランナーの方々に論じていただこうと思います。ツーリズムによる地域創生に関心のある方々のお一人でも多くのご来場をお待ち申し上げます。

目的

- 1 わが国が掲げている観光立国ビジョン、特にインバウンドによる地域創生の重要性や最新の推進状況を知る
- 2 国内外で活躍する地域創生の実践者による「ツーリズムで成功する地域創生」の手法や、「今後の方向性、特に富山の可能性」について意見交換をする
- 3 地域創生にはどのような技能、能力を持つ人材が必要なのか、またその人材の育て方はどのようにすればいいのか等、教育をテーマに論じる



プログラム

- 15:00 主催者挨拶
- 15:05 基調講演 国土交通省観光庁審議官 加藤 進氏
「日本が期待する地域創生—その必要性と、観光の果たす役割—」
- 16:00 シンポジウム
「成功する地域創生の手法、そのための人材育成」
- 17:45 懇親会 (~19:00 終了)



基調講演
国土交通省観光庁審議官
加藤 進氏

平成2年(1990年)東京大学法学部卒業、運輸省(現・国土交通省)採用。観光庁総務課企画室長、九州運輸局企画観光部長、航空局空港部首都圏空港課成田国際空港整備推進調整室長、自動車局貨物課長、内閣官房特定複合観光施設区域整備推進室参事官、観光庁総務課長等を経て、令和元年7月より現職。



シンポジウム
パネリスト
JTIC.SWISS代表
富山福祉短期大学非常勤講師
山田 桂一郎氏

JTIC.SWISS代表。2005年、内閣府・国交省(観光庁)・農水省から観光カリスマ(世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ)として認定される。世界各地におけるマーケティングとブランディングの経験を活かし、日本国内の地域振興や経済活性化、人材育成等に関する様々な事業化を推進している。また、多くの省庁や自治体の審議会や検討会等の委員、アドバイザーも務めている。内閣官房地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房クールジャパン地域プロデューサー、環境省環境カウンセラー(事業部門・市民部門)、まちづくり観光研究所首席研究員、北海道大学客員教授、和歌山大学客員教授、奈良県立大学客員教授等。



シンポジウム
パネリスト
富山県観光・交通振興局長
猪俣 明彦氏

平成11年(1999年)通商産業省(現・経済産業省)入省。特許庁総務部国際課長補佐、外務省在アメリカ合衆国日本国大使館一等書記官、通商政策局経済連携課長補佐、大臣官房政策審議室企画調査官、産業技術環境局環境政策課地球環境対策室長、富山県理事・商工労働部次長等を経て、平成31年4月より現職。



シンポジウム
パネリスト
美ら地球CEO
富山福祉短期大学非常勤講師
山田 拓氏

(株)美ら地球CEO、総務省地域力創造アドバイザー、内閣官房クールジャパン・地域プロデューサー。イナカを巡る外国人向けプラットフォーム SATOYAMA EXPERIENCE を運営。外資系コンサルティング会社を退職し、足かけ2年にわたる世界のツーリズムを学ぶ旅を経て、飛騨古川に移住。里山や民家などの現存する地域資源を活かしたツーリズムを主とした数々の地域再生ソリューションをプロデュース。平成24年地域づくり総務大臣表彰にて個人表彰を受けるほか、環境大臣賞(「五感で感じるまち大賞」平成23年)、グッドデザイン賞(平成25年)、エコツーリズム大賞優秀賞(平成26年)など、多方面からの評価を受ける。近年は、地方部各地でのツーリズム・ビジネスの立上げ支援や人材育成プロジェクトに従事する。著書に「外国人が熱狂するクールな田舎の作り方」(新潮新書)がある。



シンポジウム
パネリスト
富山福祉短期大学
国際観光学科 准教授(予定)
齋藤 望

栃木県生まれ。大学にて国際観光学に魅了され、卒業後、民間(旅行会社)及び行政(県の観光課)など観光分野において10年以上の経験を持つ。オーストラリア・クイーンズランド大学にて国際観光学修士号取得後、株式会社パドコで国際開発コンサルタントとして、7年間従事。ネパールやウズベキスタンなどの途上国にて観光開発及び人材育成(海外研修含む)の専門的経験を持つ。特に観光による地域創生を行い、貧困削減や女性のエンパワメントに繋がる開発や政策などの提案や人材育成などを行っている。日本の大学やウズベキスタンでは講師も行う。2017年から和歌山大学国際観光学センター客員特別研究員として海外プロジェクトを中心に観光研究を実施し、国際会議で発表している。



シンポジウム
モデレーター
富山福祉短期大学
国際観光学科 学科長・教授
藤本 幸男

1973年(株)JTBに入社、ロサンゼルス支店長をはじめ、JTB各社の役員、ならびにヨーロッパ、アメリカ、オセアニア部長を歴任。専門分野は商品企画、旅行事業経営。内外の大学、団体での講演多数。著書に『旅行商品企画の理論と実際—プロが教えるパッケージツアーの作り方』、『旅行業概論』など。2020年開講の新学科では、6カ月間のオーストラリア・インターンシップ実習や、時代を先がけるアドベンチャーツーリズムなどのニューツーリズムの専門学修、毎日の英語シャワー授業など、今後の社会が求める『企画型グローバル人材』育成のための特徴的なカリキュラムを築いた。